

第 122 期  
事業報告書

---

令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日

**ASAHI**

**旭精工株式会社**

# 事 業 報 告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

この度の新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々およびご遺族の皆様方に謹んでお悔やみ申しあげますとともに、罹患されている方々にはあらためてお見舞い申しあげます。

また、日夜最前線にて新型コロナウイルスの治療にあたられている医療従事者をはじめとする皆様に心から感謝と敬意の念を表します。

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過および成果

2021年度の日本経済は、経済活動の正常化が進み、企業の生産活動や設備投資、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど総じて緩やかな回復基調が続きました。しかしながら年度後半においては半導体部材の供給不足、原材料価格のコスト上昇や供給制約およびサプライチェーン混乱の影響を受けるなど経済の先行きは、不透明が見込まれる状況となりました。

一方世界経済は、米国経済をはじめ欧州や新興国経済で持ち直しの動きが見られましたが、中国経済の減速懸念に加え、ウクライナ情勢の悪化や新型コロナウイルス感染症の再拡大、半導体不足の影響などから厳しい状況が続きました。

このような経済環境下、当社グループは全従業員が一丸となって部内間、部門間の連携を強化しながら生産性の向上やトータルコストの低減などに取り組むとともに、常に緊張感と健全なる危機感を持ちながらお客様目線に立って何事にもスピード感を持って業務に取り組んでまいりました。

その結果、当期連結売上高は108億27百万円(前期比13.7%の増収)となり、当期の単体売上高は75億82百万円(前期比17.3%の増収)となりました。

製品別売上高では、主力商品であります軸受ユニットが81億60百万円(前期比12.4%の増収)、クラッチブレイキ、直線運動機器をはじめとする機械部品等は26億67百万円(前期比17.9%の増収)となり、売上高に占める構成比率は軸受ユニットが75.4%(前期76.2%)、機械部品等は24.6%(前期23.8%)となりました。利益においても、製造部門の原価低減、全部門での徹底した経費削減に努めた結果、連結経常利益は11億17百万円(前期9億15百万円)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は8億85百万円(前期5億89百万円)となりました。

## (2) 今後の見通し（対処すべき課題）

今後の見通しとしましては、新型コロナウイルス感染症の動向のほか、ウクライナ情勢の行方や原油を含む原材料の高騰、加えて米中摩擦の長期化など先行きはきわめて不透明な状況にあります。

そのような状況下、当社グループとしましては、今年度も「当たり前のことを当たり前にする」をモットーに更に「品質は一番のセールスマン」の意識を常に持ち、お客様目線に立ったモノづくりと販売活動に取り組んでいく所存でございます。また全部門がそれぞれの政策、行動計画を強力に推し進めることにより、長期目標「100年企業」達成に努めてまいります。

どうか昨年度と変わらぬ皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### (3) 設備投資および資金調達の状況

当連結会計年度に実施いたしました設備投資は、生産設備の合理化のためのものであり、投資総額2億14百万円は、自己資金とリース契約で賄いました。

### (4) 財産および損益の状況の推移

区 分	第 119 期 (平30. 4. 1から 平31. 3. 31まで)	第 120 期 (平31. 4. 1から 令 2. 3. 31まで)	第 121 期 (令 2. 4. 1から 令 3. 3. 31まで)	第122期(当期) (令 3. 4. 1から 令 4. 3. 31まで)
売 上 高	11,109百万円	10,789百万円	9,521百万円	10,827百万円
経 常 利 益	1,013百万円	966百万円	915百万円	1,117百万円
親会社株主に帰属 する当期純利益	694百万円	612百万円	589百万円	885百万円
1株当たり当期純利益	116円81銭	103円06銭	99円19銭	148円81銭
総 資 産	11,831百万円	12,090百万円	12,358百万円	13,864百万円
純 資 産	8,007百万円	8,544百万円	8,998百万円	10,211百万円

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### (5) 子会社の状況

#### ① 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	当社の出資比率	主 要 な 事 業 内 容
AMI BEARINGS, INC.	720千ドル	100%	軸受ユニットおよびその部品の販売
三興商事株式会社	15百万円	100%	ベアリングおよび精機部品の販売

#### ② 企業結合の成果

当期の連結売上高は108億27百万円となり前期と比べて13億5百万円の増収となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は8億85百万円となり前期と比べ2億95百万円の増益となりました。

### (6) 主要な事業内容（令和4年3月31日現在）

当社の企業集団の事業は主に、軸受ユニット、クラッチブレーキ、直線運動機器関連およびその他伝導部品等の製造販売を行っており、さらに各事業に関する研究・開発およびその他のサービス等の事業活動を展開しております。

## 連結貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>	<b>13,864,638</b>	<b>負 債 の 部</b>	<b>3,653,330</b>
<b>流 動 資 産</b>	<b>9,512,118</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>3,029,496</b>
現金及び預金	3,625,554	支払手形	10,726
受取手形及び売掛金	1,751,380	買掛金	691,720
電子記録債権	423,097	電子記録債務	333,883
棚卸資産	3,455,838	短期借入金	1,220,142
その他	292,765	未払費用	217,168
貸倒引当金	△36,518	未払法人税等	212,728
<b>固 定 資 産</b>	<b>4,352,520</b>	賞与引当金	160,347
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>2,684,760</b>	リース債務	52,472
建物及び構築物	533,958	その他	130,308
機械装置及び運搬具	452,973	<b>固 定 負 債</b>	<b>623,833</b>
土地	1,432,187	長期借入金	270,000
建設仮勘定	395	退職給付に係る負債	174,496
リース資産	187,604	長期未払金	7,848
その他	77,641	長期預り保証金	3,199
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>78,113</b>	リース債務	159,138
電話加入権	3,938	資産除去債務	9,151
ソフトウェア	2,916	<b>純 資 産 の 部</b>	<b>10,211,308</b>
のれん	71,258	<b>株 主 資 本</b>	<b>9,868,977</b>
<b>投 資 そ の 他 の 資 産</b>	<b>1,589,647</b>	資本金	660,000
投資有価証券	1,150,521	資本剰余金	557,792
差入保証金	35,338	利益剰余金	8,670,982
繰延税金資産	308,493	自己株式	△19,798
その他	95,293	その他の包括利益累計額	342,331
		その他有価証券評価差額金	92,274
		為替換算調整勘定	250,057
<b>資 産 合 計</b>	<b>13,864,638</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>13,864,638</b>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		10,827,376
売 上 原 価		7,024,719
売 上 総 利 益		3,802,657
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,736,975
営 業 利 益		1,065,681
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	9,236	
為 替 差 益	57,873	
そ の 他	25,513	92,624
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	19,639	
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	18,317	
そ の 他	2,401	40,358
経 常 利 益		1,117,947
特 別 利 益		
補 助 金 収 入	60,901	60,901
特 別 損 失		
棚 卸 資 産 廃 棄 損	13,004	
固 定 資 産 廃 棄 損	509	13,514
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		1,165,335
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		378,742
法 人 税 等 調 整 額		△98,458
当 期 純 利 益		885,051
親会社株主に帰属する当期純利益		885,051

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。